

# 平成27年度の目玉事業

○はじめに	1
○まちの魅力の発信	2
○民設民営保育所整備事業 他	3
○小学校の施設整備事業 他	3
○国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計繰出金 他	4
○消防署整備事業	4
○街灯・照明灯のLED化事業	5
○地域バス本運行事業 他	5
○可燃ごみ共同処理事業	6
○近隣市との広域連携	6
○公共建築物の一元管理事業	7

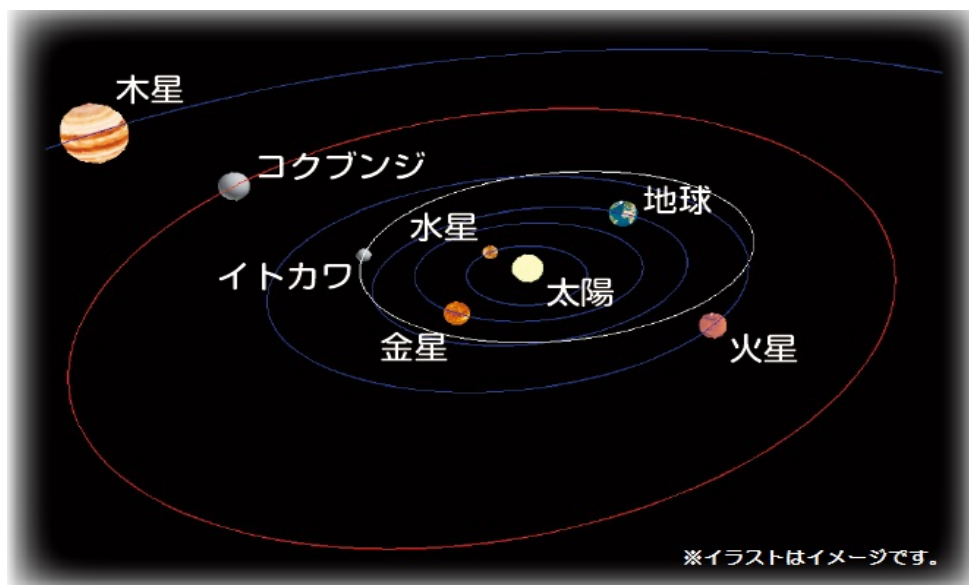
平成27年2月17日

国分寺市

## ★はじめに★

### ゼロベース積上げにより収支均衡予算を達成

今年度の予算編成は、昨年度に引き続き「ゼロベース部局積上げ予算方式」により取り組みました。すべての事務事業の経費を各部局ゼロベースから見直し、ひとつひとつ検証し、積み上げ、真に必要なものを計上した結果、臨時財政対策債を借り入れず、また、財政調整基金の取崩しを行わず、収支均衡予算となりました。



## 今年度は「宇宙」をテーマにまちの魅力を発信

今年度は、「日本の宇宙開発の父」と称される糸川英夫教授が現在の早稲田実業学校敷地内において、日本で初めてペンシルロケットの水平発射実験を行ってから60年目の節目の年を迎えます。また、平成27年2月3日には、火星と木星の間にある小惑星に「Kokubunji」という名がつけられました。これらを背景として、今年度は「日本の宇宙開発発祥の地 国分寺」をまちの魅力として、これまで以上に強く発信できる絶好の機会として事業を展開します。

水平発射実験が行われた4月12日には、早稲田実業学校において、当時の関係者による「記念講演会」の実施、4月11日には親子や小中学生を対象とした「水ロケット水平発射大会」の実施、さらに日本最大級の規模でペンシルロケットの実機を集めて展示する、国分寺市ならではの「企画展」を4月11日から19日まで開催します。

また、ペンシルロケット発射60周年を記念して、国分寺市に一定額の「ふるさと納税」をしていただいた方のうち、希望する方には「ペンシルロケットのレプリカ」をお礼の品として贈呈する事業を実施します。

さらには、「わがまち活性化事業」及び中央線沿線5市による共同事業「子ども体験塾」においても、様々な企画の実施を通して、国分寺市と日本の宇宙開発の関係を市内外に発信していきます。

## 歴史等の貴重な資源を活かした事業等でまちの魅力を発信

歴史や自然等の貴重な資源を活かした事業や市制施行50周年からの継続事業をより一層賑わいをもたらすものに発展させます。また、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）、観光アプリ等を活用しながら動画を含めた情報発信を行うことにより観光施策を展開し、観光を通じた産業、地域の活性化により市外から人を呼び込み、まちの賑わいを高めていきます。

### 平成29年度を目途に待機児童を解消

保育施策については、「国分寺市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、今年度当初に本計画上415人と推計している潜在的ニーズを含めた待機児童の解消のため、民設民営保育所の誘致を進め、2園合わせて250人程度の定員増を図るための整備を行います。また、来年度にも同規模の整備を行い、長年の課題であった保育所待機児童については、平成29年度を目途に解消する予定です。また、引き続き公立保育園の民営化を進め、日吉保育園については選定した社会福祉法人と丁寧な保育の引継ぎを行い、さらに、ほんだ保育園については、優良な民営化法人の募集を行い、円滑な民営化に努めます。

### 育児不安の解消などのため専門家による個別相談を実施

妊娠中の方や乳幼児の子どもを養育する保護者の中で、メンタルヘルスに課題を抱える方に対して、気軽に心の相談を行い、育児不安の解消・軽減、児童虐待の防止につながることを目的として、精神科医・保健師による個別相談を行います。

### 小学校トイレの洋式化と通学路に防犯カメラ

教育環境の向上を図り、児童・生徒が安全で快適な学校生活が送れるよう整備を進めます。

施設整備においては、既に2校の改修工事が終了し、今年度は第二・第五・第六小学校のトイレの洋式化を中心とした改修工事を行うとともに、来年度以降の改修工事に向けて、残り5校の設計を行います。なお、中学校については、来年度から平成31年度までにかけて設計、改修工事を行う予定です。また、老朽化に伴う第五小学校校舎の大規模改造工事を実施します。

さらに、児童の安全安心を守るため、地域の見守り活動と合わせ、各小学校の通学路に5台の防犯カメラを設置します。

### 平成29年度完成に向け、いよいよ再開発ビルを着工

昨年度、建物解体除却工事の進行や、バス、タクシー乗り場の移設、駅通路の切替えなど、実際に見える形で、国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業は、大きく前進しました。今年度は、事業が更に進行し、いよいよ再開発ビルが着工します。平成29年度のビル完成に向け、確実に工事が進むよう万全の対応を図っていきます。また、再開発ビル前面に整備する交通広場や区画道路等については、電線共同溝の整備計画を含め実施設計を行うなど、来年度からの工事着手に向けた準備を進めていきます。

### 西街区ビル5階には公益フロアを整備

再開発ビル西街区5階に整備予定の公益フロアについては、市民からのご意見をふまえた基本方針を定めた上で、設計のための条件整理を行い、まちの魅力を発信する拠点として整備計画をまとめていきます。

### 新たな国分寺消防署の建設用地を確保

現在、本多一丁目にある国分寺消防署は、昭和37年に建設され52年が経過し、老朽化が深刻な状態となっています。泉町二丁目2番の都有地に新たな消防署用地を確保するため（消防事務の委託に関する規約に基づき用地は市が準備することになっています。）、東京都との協議を進めていきます。

### 街灯・照明灯LED化の推進で環境保全と電気料金などを削減

夜間における交通事故防止及び防犯の観点から設置している道路照明灯のうち108基をLED灯に交換します。昨年度実施した街灯689基のLED化と合わせて、市が管理する街灯・照明灯の約25パーセントがLED灯になります。また、この他の老朽化した既存の照明灯の交換修繕及び街灯の新規設置についてもLED化を行います。LED灯は、水銀灯や蛍光灯と比較して長寿命であり、消費電力量が少ないため地球環境に優しく、維持管理費用や電気料金の削減の効果が期待できます。

### 新たなぶんバスルートの検討とノンステップバスへの切替え

駅やバス停から遠いと言われる市内の公共交通空白地域を解消するとともに、公共施設へのアクセス確保及び福祉の拡充などを目的に、地域バス「ぶんバス」を運行していますが、現在の運行ルートとは別に、新たに3ルートの運行を目指しています。

今年度は、北町ルートの本運行を実施するとともに、万葉ルート、けやきルートでは実現可能な運行ルートの確定に向けて、検討を進めていきます。

また、乗り降りの際に階段があることによる、つまずきなどの転倒事故を未然に防ぐとともに、利用者の不安を解消するために、全ルートで運行している7台のうち、耐用年数を迎える3台を安全で快適な乗り降りが可能となるノンステップバスに切り替えていきます。

### **日野市, 国分寺市, 小金井市で浅川清流環境組合を設立**

日野市, 国分寺市, 小金井市の3市共同による新可燃ごみ処理施設の平成32年度からの本格稼働を目指し, 新施設の整備, 運営を行う一部事務組合である「浅川清流環境組合」を7月に設立し, 連携を図りながら取り組んでいきます。

また, 共同処理を進めていく上での更なるごみの減量・資源化が必要となるため, 生ごみたい肥化事業の拡大, ごみ分別アプリの導入, 資源物の持ち去り防止対策の強化などの施策を展開していきます。

### **小平市や国立市などとの広域連携を推進**

広域連携は, 平成26年の地方自治法の一部改正により連携協約制度が設けられるなど, 今後の基礎自治体経営に不可欠なものとなっています。今年度は, 新たな広域連携制度に関する研究をさらに進めるとともに, 具体的には, 小平市とは図書館, 体育施設の相互利用に加え, 文化施設の相互利用について連携を深めるとともに, 国立市とは国立駅の高架下利用について, 両市が共同で効果的な行政サービスの提供ができるよう施設の整備を検討していきます。



### 市民参加で公共施設等のありかたを検討

公共施設等マネジメントの推進については、今後、少子高齢社会の更なる進展などを踏まえると、市の有する公共施設等のありかたを市民とともに考え、その方向性を定める必要があります。

今年度は、昨年度に実施した公共施設等の現況調査結果をもとに、アンケート調査や無作為抽出による市民ワークショップの開催等を通じて、市民の皆様のご意見を広く聴取しながら、市の公共建築物及びインフラ施設等の今後のありかたを定める「(仮称)国分寺市公共施設等総合管理計画」の策定に取り組みます。